

令和 3年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課

担当名：企画・団体担当、障害者スポーツ

内線：3296

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B85	共生社会づくり推進事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者福祉啓発推進費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	障害者差別解消法第15条(義務) 埼玉県手話言語条例第3条	宣言項目		SDGsゴール		10	
	令和 3年度			分野施策	030730 障害者の自立・生活支援	SDGsターゲット	10-2		
1 事業概要			5 事業説明						
<p>県民等へ障害及び障害者に対する正しい理解を普及するための啓発を行なうとともに、手話の普及と手話を使用しやすい環境の整備を進めることにより、障害のある人もない人も共に生きる「共生社会」の実現を図る。</p> <p>(1) 共生社会実現事業 942千円 (2) 手話普及リレーキャンペーン 5,408千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 共生社会実現事業 942千円 内部障害や難病の方など外見から分からなくても援助や配慮が必要な方々が援助を受けられやすいようヘルプマークを作成配布するとともに、マークの周知のための広報を行う。 また、障害者差別解消法や県条例についての事業者向け説明会を開催する。</p> <p>イ 手話普及リレーキャンペーン 5,408千円 県民の手話への関心と理解を深めるため、県内5地域を巡るリレーキャンペーンを行い、初心者向けの手話講座、手話による文化芸術活動のステージ発表などを行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 県内の内部障害者を対象にヘルプマーク(40,000個/H30年、20,000個/H31年、20,000個/R2年度、3,000個/R3年度)作成 説明会を3地域で開催</p> <p>イ 開催回数：5回、参加者数：各回200人～500人</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>外見から分かりにくい障害を持っている方の社会参加の促進 障害のある人もない人も共に生きる「共生社会」の実現に寄与する 手話の普及と手話を使用しやすい環境の整備の促進に寄与する</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 包括的連携協定企業を活用した啓発(コンビニ、流通、金融等)</p>						
2 事業主体及び負担区分									
(1) 国1/2、県1/2又は県10/10 (2) 県10/10									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500円×1.4人=13,300千円									
			財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
予算額			国庫支出金						
決定額	5,390	319						5,071	△3,195
前年額	8,585	1,887						6,698	